

令和5年9月6日

名護市の皆さま
関係各位

オリオンビール株式会社

名護工場 冷却水流出事故に関する現状報告

オリオンビール株式会社(以下、弊社)名護工場において6月に発生いたしました冷却水流出事故(以下、本件)について、近隣の住民の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまには多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなりましたこと、深くお詫び申し上げます。

本件について、以下の通り、現状を報告いたします。

(1) 事故原因および現状について

弊社内で危機管理委員会を立ち上げて内部調査を進めたところ、6月26日(月)23時頃、冷却水送液ポンプ3台のうち1台の出口配管手動バルブが閉じられた状態でポンプが稼働したことにより、接続しているフレキシブル配管に亀裂が生じ、約24.8m³の冷却水が漏洩したことが判明いたしました。翌27日(火)9時半に流出が止まったことを行政担当者お立ち合いのもと確認し、以降、下記(2)に示す通り、再発防止の取組に順次着手しております。

現時点において、本件について名護海上保安署より水質汚濁防止法上、基準値以下であったとの見解をいただいております。また、沖縄県中部保健所からも、本件は食品衛生法上、事件性・違法性がないものとして、追加調査等の指示・対応要請を受けていないこと、併せて報告させていただきます。

一方、製造能力や製品品質には何ら影響がないながらも、名護工場の環境マネジメントに対する国際認証(ISO14001)は本件の影響により9月1日付けで一時停止となっております。そのため、本年11月1日予定の審査(同措置の是正有効性確認)を通して解除されることを目指し、是正措置には既に着手しておりますことを併せて報告させていただきます。

(2) 再発防止の取組について

沖縄への報恩感謝、共存共栄をコアバリューとして掲げる弊社として、創業の地で上記のような流出事故を起こしてしまったという事実を深く受け止め、今後、二度とこのようなことが生じないよう、下記の対応を中心とした再発防止の取組を徹底して進めております。

- ・代表取締役社長 村野一を委員長とする「オリオンビール危機管理委員会」の設置
- ・外部有識者3名で構成される「工場安全・安心水準向上のためのアドバイザー委員会」の設置
- ・再発防止策完了までの当該冷却水ポンプの使用停止と防液堤の増強・新設

- ・冷却水タンク液面監視センサー設置など現場監視範囲拡大・体制の強化
- ・ハザードマップの作成（他設備・化学品への水平展開）
- ・緊急事態訓練およびオペレーションマニュアルの更新と管理の強化

以 上

【お問い合わせ先】

オリオンビール株式会社 CSR・広報部

電話番号： 098-971-6354

メールアドレス： csr_cc@orionbeer.co.jp